

03. 新規設計時の留意点

- ・ 寸法変更に伴う留意点

03. 新規設計時の留意点

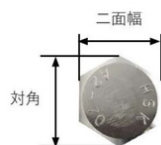
寸法の変化に伴い生じる留意点について

- ・ 新規に設計・製作する際には、最新の知見が取り入れられた**本体規格品の使用を推奨します**。
- ・ 六角ボルト・ナットの**強度区分による適切な組合せ**にてご使用ください。
- ・ **附属書JA品と、寸法・形状が一部変更します**。
 - ①二面幅(スパナ径)寸法→締付工具の変更
 - ②ナット高さが高くなり、ボルト余長が短くなる→はめあい長さも併せて長くなるため、余長は2山程度でも問題ございません。**施工管理チェック基準**も併せてご確認ください。ボルト必要長もご確認ください。

03. 新規設計時の留意点

①-1:二面幅(スパナ径)寸法の変更について

以下のサイズにおいて、本体規格(IS)品と附属書JA品では**六角の二面幅が異なるため、ご使用されているスパナ等との互換性がございません**。
本体規格(IS)品対応の工具をご使用ください。



ねじの呼び	ピッチ	二面幅	
		本体規格(IS)品	附属書JA品
M10	1.5	16	17
M12	1.75	18	19
M14	2.0	21	22
M22	2.5	34	32

03. 新規設計時の留意点

①-2:二面幅(スパナ径)寸法の変更について



《弊社在庫品》

メーカー	商品名	型番	対応ネジ径
TOP工業	ライナースパナ	L-16X18	M10・M12
TOP工業	両口ラチェットレンチ	RM-16X18	M10・M12
TOP工業	両口メガネレンチ(45°)	TM-16X18	M10・M12

在庫は順次拡大予定です。

04. 課題

- ・ 本体規格(IS)品と附属書JA品の混在防止対策
- ・ 今後の本体規格(IS)品の流通

04. 課題:混在を防止する

①-1:本体規格(IS)品と附属書JA品の区別-統一呼称

それぞれの**統一呼称**を以下のように設定し、混在を防いでいます。

《六角ボルト》

- ・ 附属書JA品の呼称 『JA六角ボルト』
- ・ 本体規格品の呼称 『IS呼び径六角ボルト』
『IS全ねじ六角ボルト』
『IS有効径六角ボルト』

《六角ナット》

- ・ 附属書JA品の呼称 『JA六角ナット』
- ・ 本体規格品の呼称 『IS六角ナット』

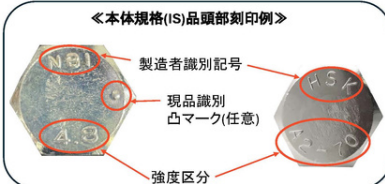
04. 課題:混在を防止する

①-2:本体規格(IS)品と附属書JA品の区別-頭部刻印

本体規格品では、**製造者識別記号**及び**強度区分**を刻印することが規定されています。
現品識別マーク(凸マーク)は国内メーカーが任意で刻印することになっています。

一方附属書JA品では、製造者識別記号、強度区分共に刻印は**メーカーでの任意選択**となります。

《本体規格(IS)品頭部刻印例》



製造者識別記号

現品識別凸マーク(任意)

強度区分

《附属書JA品頭部刻印例》



製造者識別記号(任意)

強度区分(任意)

04. 課題:混在を防止する

①-3:本体規格(IS)品と附属書JA品の区別-梱包ラベル

製品ラベルについて

本体規格(IS)品は、製品段ボール箱、小箱ともに【本体規格】または【IS】と明記したラベルが貼付しております。

梱包ラベルについて

弊社ではピッキング時、お品物の箱または袋に左側の梱包ラベルを貼付しております。
【(IS)】または【(JA)】と明記がございます。

04. 課題:混在を防止する

①-4:本体規格(IS)品と附属書JA品の区別-貴社へのお願い

- ・ **ご注文時**: ISまたはJAとご指定いただけますと、指定によりご対応させていただきます。
- ・ **在庫管理時**: 混在、混入防止のために分けての保管をお願いいたします。

04. 課題:流通について

①-1:現状の問題点

ねじ製造メーカー様

- ・ **コスト面**
...金型の作り直しが必要。
...新規でのJIS認証取得が必要。
- ・ **技術面**
...本体規格の規定に則る製品の製造

⇒「需要が少ない」

ユーザー様

- ・ **入手が困難**
...採用したいが、最低ロットが多い。
...市場性が低い。
- ・ **切替の必要性**
...既設設計や被締結物との兼合い。

⇒「供給が少ない」

